

国際保健学分野

A 欧文

A-a

1. Onozuka D, Hashizume M. Weather variability and paediatric infectious gastroenteritis. *Epidemiol. Infect.* 2011;139:1369-1378.
2. Hashizume M, Faruque ASG, Terao T, Yunus M, Streatfield K, Yamamoto T, Moji K. The Indian Ocean Dipole and cholera incidence in Bangladesh: A time series analysis. *Environ Health Perspect.* 2011;119:239-244.
3. Onozuka D, Hashizume M. Effect of weather variability on the incidence of mumps in children: a time-series analysis. *Epidemiol. Infect.* 2011;139:1692-1700.
4. Haque U, Sunahara T, Hashizume M, Shields T, Yamamoto T, Haque R, Glass GE. Malaria prevalence, risk factors and spatial distribution in a hilly forest area of Bangladesh. *PLoS ONE.* 2011;6(4): e18908. doi:10.1371/journal.pone.0018908
5. Life, Health and Community in the massive Tsunami affected town in Japan Taro Yamamoto, Masaya Kato and Susumu Shirabe. *Lancet.* 2011.Jury23,Vol378;318
6. Oki M, Sunahara T, Hashizume M, Yamamoto T. Optimal timing of insecticide fogging to minimize dengue incidence: modeling dengue transmission among various seasonalities and transmission intensities. *PLoS Neglect Trop Dis* 2011;5(10): e1367. doi:10.1371/journal.pntd.0001367
7. Haque U, Hashizume M, Kolivras KN, Overgaard HJ, Das B, Yamamoto T. Reduced death rates from cyclones in Bangladesh - What more needs to be done? *Bull World Health Organ* (in press)
8. Kounnavong S, Sunahara T, Hashizume M, Okumura J, Moji K, Boupha B, Yamamoto T. Anemia and its related factors in preschool-aged children in the southern rural Lao People's Democratic Republic. *Trop Med & Health* doi:10.2149/tmh.2011-13
9. Onozuka D, Hashizume M. Weather and hand, foot and mouth disease incidence: a time series study. *Sci Total Environ* 2011;410:411-419.
10. Kounnavong S, Sunahara T, Mascie-Taylor NCG, Hashizume M, Okumura J, Moji K, Boupha B, Yamamoto T. Effect of daily versus weekly home fortification with multiple micronutrient powder on haemoglobin concentration of young children in a rural area, Lao People's Democratic Republic: a randomised trial. *Nutrition Journal* 2011;10:129 doi:10.1186/1475-2891-10-129
11. Hori A, Hashizume M, Tsuda Y, Tsukahara T, Nomiyama T. Effects of weather variability and air pollutants on emergency admissions for cardiovascular and cerebrovascular diseases. *International Journal of Environmental Health Research* (in press)
12. Hashizume M. Climate, climate change and diarrhoea in Bangladesh. *Journal of Agroforestry and Environment.* 2011;5:47-53.
13. Michiyo Higuchi, Junko Okumura, Atsuko Aoyama, Sri Suryawati, John Porter, Application of standard treatment guidelines in rural community health centres, Timor-Leste. *Health Policy and Planning* 2011;1-9 doi:10.1093/heapol/czr051 (Published online on July 11, 2011).
14. Liang Qin, Zhaoyan Zhou, Bijie Hu, Taro Yamamoto, Hiroshi Watanabe. Antimicrobial susceptibilities and genetic characteristics of Haemophilus influenzae isolated from community acquired respiratory tract infection patients in Shanghai City, China. *Journal of Infection and Chemotherapy.* doi:10.1007/s10156-012-0372-0
15. Mohiddin Hussain Khan, Junko Okumura, Sovannarith Tey, Nivanna Nam, Hiroto Nagai, Masatoshi Taga, Naoko Yoshida, Manabu Akazawa, Tsuyoshi Tanimoto, Kazuko Kimura, Counterfeit medicines in Cambodia - Possible causes. *Pharmaceutical Research* 28: 484-89, 2011.
16. Hashizume M, Chaves LF, Minakawa N. Indian Ocean Dipole drives malaria resurgence in East African highlands. *Scientific Reports* (in press)

B 邦文

B-a

1. Masaya Kato, Taro Yamamoto. Early Response to the Great East Japan Earthquake and Massive Tsunami at an evacuation shelter in Otsuchi, Iwate Prefecture. *日本健康教育学会誌.*
2. 木村和子, 本間隆之, 谷本剛, 高尾知里, 奥村順子, 吉田直子, 赤沢学. インターネットで個人輸入した医薬品の保健衛生(2) - 抗肥満薬による追跡 -. *医療と社会* 21 (1): 55-67, 2011.

B-b

1. 山本太郎: 感染症と国際貢献、国際支援 化学療法の領域 11月号 vol.27 No.11 2011年
2. 山本太郎: 「自然災害と感染症」 「自然災害と感染症－ハイチの事例を中心に－」 感染症 242号 vol.41 No.6 2011年
3. 奥村順子: 被災地における公衆衛生活動 - 東日本大震災の経験から - 薬事 1317-22 2011年

B-c

1. 山本太郎: 主な検疫・輸入感染症. 文光堂 2011年4月
2. 山本太郎: 大震災のなかで 私たちは何をすべきか 岩波書店 2011年6月
3. 山本太郎: 感染症と文明－共生への道 岩波書店 2011年8月

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
4	1	3	3	3	1

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
山本太郎・教授	国際保健検討委員会 委員	日本医師会
山本太郎・教授	常任理事（庶務・会計）・編集委員	日本熱帯医学会
山本太郎・教授	理事・代議員	日本国際保健医療学会
山本太郎・教授	日本医師会医学用語代委員	日本医師会
山本太郎・教授	客員教授	大連医科大学
山本太郎・教授	ODA 評価アドバイザー	外務省
山本太郎・教授	未来の科学発掘推進委員	長崎大学
山本太郎・教授	JICA アドバイザー青年海外協力隊	JICA
山本太郎・教授	客員研究員	東京大学医学教育国際協力研究センター
山本太郎・教授	「共生－社会・疾病・そして地球環境」講演	総合地球環境学研究所
山本太郎・教授	社会医学セミナー「感染症と文明」	厚生労働省
山本太郎・教授	第25回総会・研究協議会「感染症と文明」講演	兵庫県普通科高等学校長会
山本太郎・教授	「感染症理解－生態学的視点より」講義	国際保健中級研修（独立行政法人 国立国際医療研究センター）
山本太郎・教授	「東日本大震災に寄せて、いま考えること」講演	長崎県医師会定例総会
奥村順子・ 准教授	用語委員会・委員	日本集団災害医学会
奥村順子・ 准教授	編集委員会・委員	日本熱帯医学会
奥村順子・ 准教授	代議員・理事	日本国際保健医療学会

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
山本太郎・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究 ウイルス感染症ヒト社会への適応過程に関する研究
山本太郎・教授	日本学術振興会	分担	GCOE. 熱帯病・新興感染症
奥村順子・ 准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究（C） 河川等に排出される抗生剤濃度と薬剤耐性菌に関する研究
橋爪真弘・助教	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費補助金（地球規模保険課題推進研究事業） 水供給分野の国際協力における総合援助手

			法に関する研究
橋爪真弘・助教	国際医療研究センター	分担	委託事業研究(熱帯東南アジアにおける新型インフルエンザ H1N1 による疾病負担ならびに超過死亡の研究) 熱帯地域におけるインフルエンザ超過死亡推定法の検討
江口克之・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究 (C) 東アジアにおける成人 T 細胞白血病 1 型の起源、進化的変遷、宿主への適応

その他

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
山本太郎・教授	ハイチでコレラ治療 地震復興遅れ感染拡大	読売新聞	2011年1月12日	ハイチ大地震、コレラ治療と感染拡大について解説した。
山本太郎・教授	ハイチ緊急レポート 崩れゆく国でコレラと闘う	Medical Tribune	2011年1月14日	ハイチ大地震、コレラについて解説した。
山本太郎・教授	ツタンカーメンの謎	長崎新聞	2011年1月26日	ツタンカーメンの死について解説した。
山本太郎・教授	【寄稿】ハイチ・コレラ渦から学ぶ感染症対策	Medical Tribune	2011年1月31日	感染症対策について解説した。
山本太郎・教授	ニュージーランドから	長崎新聞	2011年3月3日	ニュージーランド地震、救護活動について解説した。
山本太郎・教授	長崎大 放射線医療チーム派遣 熱研の山本教授も現地へ	長崎新聞	2011年3月14日	東日本大地震について解説した。
山本太郎・教授	派遣の医師『総力戦』	読売新聞	2011年3月17日	東日本大地震について解説した。
山本太郎・教授	長崎から被災地へ	読売新聞	2011年3月17日	東日本大地震について解説した。
山本太郎・教授	長崎大 被災地に医療拠点	長崎新聞	2011年3月17日	東日本大地震について解説した。
山本太郎・教授	水や空	長崎新聞	2011年3月20日	東日本大震災の救護活動について解説した。
山本太郎・教授	【大槌】長崎大学病院が診療所 避難所で29日まで	岩手日報	2011年3月27日	東日本大地震について解説した。
山本太郎・教授	長崎大 山下科長ら 現地活動を報告	長崎新聞	2011年4月7日	東日本大地震、救援活動について解説した。
山本太郎・教授	復興の主役は地域の人々	読売新聞	2011年4月8日	東日本大地震復興について解説した。
山本太郎・教授	復興の主体は地域	西日本新聞	2011年4月8日	東日本大地震復興について解説した。
山本太郎・教授	「医療支援はどう始まったか」世界5 2011 May	岩波書店	2011年4月13日	東日本大震災について解説した。
山本太郎・教授	野口英世と井戸泰	長崎新聞	2011年4月13日	ウイルス病について解説した。

山本太郎・教授	私たちにできる復興支援	中国新聞	2011年5月8日	東日本大地震の救護活動について解説した。
山本太郎・教授	同じ地球の中で	長崎新聞	2011年5月15日	東日本大震災について解説した。
山本太郎・教授	感染症と文明	岩波書店	2011年6月21日	感染症について解説した。
山本太郎・教授	ザンビア	長崎新聞	2011年6月24日	ザンビア滞在中でのことについて解説した。
山本太郎・教授	新刊新書・サミングアップ	週刊東洋経済	2011年7月16日	「感染症と文明」の本が取り上げられた。
山本太郎・教授	今週の本棚 海部宣男	毎日新聞	2011年7月17日	「感染症と文明」の本が取り上げられた。
山本太郎・教授	新書	朝日新聞	2011年7月24日	「感染症と文明」の本が取り上げられた。
山本太郎・教授	聖福寺惜字亭	長崎新聞	2011年7月26日	長崎に居留していた外国人の感染症流行について解説した。
山本太郎・教授	読み解く「災害で変わる人類」石弘之	東京新聞	2011年8月14日	「感染症と文明」の本が取り上げられた。
山本太郎・教授	海の盆・山の盆	長崎新聞	2011年8月23日	東日本大震災を受けた大槌町のその後について解説した。
山本太郎・教授	感染症との共生 探る	読売新聞	2011年9月3日	感染症との共生について解説した。
山本太郎・教授	大学の東日本大地震緊急支援	アジ研ワールド・トレンド9月号	2011年9月21日	東日本大地震の緊急支援について解説した。
山本太郎・教授	読書 高橋信雄	長崎新聞	2011年9月25日	「感染症と文明」の本が取り上げられた。
山本太郎・教授	天文学者	長崎新聞	2011年10月22日	フェルメールについて解説した。
山本太郎・教授	海を越えた「青と碧」	長崎新聞	2011年11月17日	ペニシリンについて解説した。
山本太郎・教授	読むぞ！ホップステップジャンプ 池田清彦	朝日新聞	2011年12月25日	「感染症と文明」の本が取り上げられた。
山本太郎・教授	2011年	長崎新聞	2011年12月31日	東日本大震災について解説した。

○特筆すべき事項

- ①東日本大震災の支援に当研究室から6人が参加した。